

## 平成26年予算決算委員会第3分科会会議録

1. 招集年月日 平成26年9月24日
2. 招集の場所 可児市役所5階第1委員会室
3. 開 会 平成26年9月24日 午前11時33分 分科会長宣告

### 4. 審査事項

#### 協議事項

1. 予算決算委員会提言の取りまとめについて
2. その他

### 5. 出席委員 (7名)

分科会長	野呂和久	分科会員	天羽良明
分科会員	林則夫	分科会員	可児慶志
分科会員	富田牧子	分科会員	酒井正司
分科会員	出口忠雄		

### 6. 欠席委員 なし

### 7. その他出席した者

予算決算委員長	伊藤 壽	予算決算副委員長	板津博之
---------	------	----------	------

### 8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局 係 長	小池祐功	議会事務局 書記	渡邊ちえ
議会事務局 書記	若尾絢子		

分科会長（野呂和久君） これより予算決算委員会第3分科会を開催いたします。

認定第1号から認定第15号までの平成25年度各会計決算認定審査の結果を踏まえ、平成25年度の予算執行の反省を平成27年度当初予算編成に生かすよう提言を行っていきたいと思います。

9月18日の予算決算委員会において、委員から発言のありました内容をもとに、本日、分科会員の皆様からの教育福祉委員会所管についての御意見をいただき、まとめていきたいと思います。

まずは提言として取り上げる項目について整理し、後ほど成文化していきたいと思います。

まず初めに、9月18日の予算決算委員会において、提言にしてはどうかということでありました5項目について、簡単に説明をさせていただきます。

1つ目、成人各種健康診査事業について。

市民の健康の増進として行っている事業であるが、事務量の煩雑さを理由に、これまで年に6回案内をしてきたものが1回にするなどにしたことから、がん検診等の受診率が悪くなりました。こうした対応について提言をしていきたいという内容であったと思います。

次に、給食への異物混入については、給食に異物の混入問題等、平成26年3月に策定をされました給食の対応マニュアルは、委員会としてどう確認しているのか。問題点があれば、それを提言すべきではないかという内容だったと思います。

次に、日中一時支援事業の補助金について、市内の団体に対する市と県のかかわりについて。

日中一時支援事業の補助金などについて、NPO法人に対する指導を、市としてもっと徹底するよう提言すべきではないかといった内容だったと思います。

4つ目の豊蔵資料館運営事業について。

バリアフリーなど来館者の利便性を考えた整備が不足している。誰もが入館していただける整備が早急に必要であり、提言すべきではないかといった内容だと思えます。

次に、あんしんダイヤル24について、事業のスクラップ・アンド・ビルドについて。

あんしんダイヤル24事業の廃止に絡んで、新規事業の立ち上げには十分な計画と検証の上で行っていくべきではないかという提言だったと思います。

それでは、以上の取り上げる項目について、自由討議を行いたいと思います。御意見のある方は挙手の上、マイクのスイッチを入れて発言をしてください。

分科会員（富田牧子君） 私は1と4だけでいいと思うんです。2、3、5もいろいろ言いましたけど、決算のときに。提言として何か出すというつもりは、私自身はなかったの。どうしてもやっぱり提言として出したいというのは、1番と4番なんですけど、どうでしょうか。

分科会長（野呂和久君） ただいま富田委員から1番の成人各種健康診査事業についてと、4番の豊蔵資料館運営事業について提言してはどうかという御意見でございました。

他にはいかがでしょうか。

分科会員（出口忠雄君） 私も富田委員と同じく1番、4番、この2つがよろしいんじゃないかなあと思います。

豊蔵資料館のところにつきましては、さきの教育福祉委員会で可児市の文化遺産をといてところで提言したところもあります。また、特に豊蔵資料館につきましては、可児市の大きな観光のといえますか、文化遺産の目玉だと思えます。ここにはより多くの人にやっぱり来てもらいたいと、そういうことを考えれば、ここはやはり取り上げていくべきじゃないかなあ。以上です。

分科会員（酒井正司君） 基本的には、私も全く同意見ですが、4番の豊蔵資料館のみというところと非常にもったいないというところ、今ちょうど発掘も進んでおりますし、もう少し膨らませて、この前少し居宅のほうの話も出ましたんで、これを中心としたバリアフリー化であり、誘客といえますか、少し膨らませた案にしたらいかがかなあと思えますが。

分科会長（野呂和久君） ありがとうございます。

ほかに御意見はございませんでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、自由討議における委員の皆様の御意見を受け、成人各種健康診査事業についてと豊蔵資料館、これについては豊蔵資料館のみではなく、もっと広げた形で提言をしていくというこの2つについて提言をしていきたいと思えますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

それでは、この2つについて提言案を策定していきたいと思えます。

それでは、暫時休憩いたします。

休憩 午前11時41分

再開 午前11時42分

分科会長（野呂和久君） 休憩前に引き続き、会議を再開します。

それでは、ここで副委員長の方案として、提言案を副委員長のほうから発表していただきます。

予算決算副委員長（板津博之君） 提言案の1と4と発表させていただきます。かなり文章は削った部分とかいろいろございますので、皆さんから御意見をいただきたいと思えます。

1．成人各種健康診査事業について。

生活習慣病予防と胃がん、大腸がん、子宮頸がん等の疾患の早期発見は市民の健康を守るための最大の課題として意識し、わかりやすく市民の身になった案内により、成人各種健診受診率向上に努めること。

続いて4番、豊蔵資料館運営事業、豊蔵記念館の整備について。

来館者のためのバリアフリー工事を行い、可児市のシンボルとして整備をすること。リニアのルート決定を受け、未来のための展望を持った整備を図ること。以上です。

分科会長（野呂和久君） それでは、副委員長案は今発表していただきました。これについて自由討議を行いたいと思います。

分科会員（酒井正司君） 1番のほうで、3行目の「身になった案内により、成人各種」という文言がありますが、確かに失敗したのは案内なんです。数回に分けたのを1回に一度で出しちゃったということですが、これはもう改められているんで、もう少し前向きにわかりやすく、市民に寄り添った取り組みを徹底しろみたいな、案内という言葉はかなり限定的な意味合いになりますので、施策そのもののような表現に変えたほうがいいと思いますけど。

分科会員（富田牧子君） 私は、その市民の身になったということが気になったので、きめ細かいというか。でも、きめ細かい案内は必要なんですね。コストカットであんなにやっちゃって、それで来る人が少なかったといたら、本当に何のためにやっておるのかわかんような話なので、案内というのは残したほうがいいような気がします。市民の身になったというのはちょっと変なんで、きめ細かいというふうに書いてもらおうと、回数がふえるか、もっときちっとしてもらえかなと思うんですけど、どうなんでしょう。

分科会長（野呂和久君） それでは、ここで暫時休憩をいたします。

休憩 午前11時46分

再開 午後0時06分

分科会長（野呂和久君） 休憩前に引き続き、会議を再開いたします。

当分科会から予算決算委員会に報告する提言案を策定いたしましたので、事務局より朗読いたします。

議事事務局係長（小池祐功君） 教育福祉委員会分科会提言案。

1．成人各種健康診査事業について。

生活習慣病予防と胃がん、大腸がん、子宮頸がん等の各種疾患の早期発見は、市民の健康を守るための最大の課題である。成人各種健康診査事業については、市民にわかりやすいきめ細かな周知に努め、その受診率向上を図ること。

2．豊蔵資料館運営事業について。

荒川豊蔵資料館については、可児市のシンボルとして、バリアフリー工事を初めとする周辺整備を行い来館者の利便性を高めるとともに、可児市のシンボル・美濃桃山陶の聖地としてふさわしい展望を持った整備を計画的に進めること。

分科会長（野呂和久君） このとおり決定し、9月27日の予算決算委員会において報告することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

本日はこれにて散会いたします。大変お疲れさまでした。

閉会 午後0時07分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成26年9月24日

可児市予算決算委員会第3分科会長